

5. 単元指導計画

		第1時	第2時	第3時	第4時
目標		(小数)×(整数)は0.1をもとにして考えると(整数)×(整数)と同じように計算することが分かる。	(小数)×(整数)の筆算は、0.1をもとにして考えると整数のかけ算の筆算と同じようにできることが分かる。	(小数)×(整数・2位数)も、0.1をもとにして考えると、(整数)×(整数)と同じように計算できることが分かる。	(小数)×(整数)の計算の意味や計算方法の定着することができる。
学習展開		<p>問題提示</p> <p>0.2 ㊦のジュースが6本あります。全部で何㊦でしょう</p> <p>0.2×6 の計算の仕方を考えよう</p> <p>・数直線にかいだり、図に書いたり、リットルをデシリットルに変えたりして考える</p> <p>0.1をもとにして考えると0.2×6は、0.1が2×6=12(個)よって</p> <p>0.2×6=1.2</p> <p>・まとめをする</p> <p>・練習問題</p>	<p>問題提示</p> <p>4.2 ㊦のひもを3本使います。何㊦いるでしょう</p> <p>・計算する 4.2×3=12.6</p> <p>4.2×3 の筆算の仕方を考えよう</p> <p>・(整数)×(整数)の振り返りをして、それをもとに考える。</p> <p>4.2 4.2 4.2 x 3 x 3 x 3 ----- 12.6 126 12.6</p> <p>・まとめをする</p> <p>・練習問題</p>	<p>問題提示</p> <p>毎分1.7km走っている人は28日でどれだけ走でしょう</p> <p>1.7×28の計算の仕方を考えよう。</p> <p>・自分のやりやすい方法で計算する。</p> <p>・ほかの方法でも計算してみる。</p> <p>・0.1をもとにして考えて、1.7×28は0.1が17×28=476(個)だから 1.7×27=47.6</p> <p>・筆算で計算する</p> <p>・まとめをする</p> <p>・練習問題</p>	<p>問題提示</p> <p>(小数)×(整数)の計算をまとめよう</p> <p>練習問題</p> <p>・今までの(小数)×(整数)の計算を振り返りながら、どのような考え方をしていたのか、計算方法をしていたのかを振り返りながら問題を解く</p>
評価基準表	関心・意欲	既習の整数の乗法の計算に関連づけて、数直線や図を使って考えようとする。	前時の学習内容を使い、(小数)×(整数)の筆算の仕方に関連づけて考えようとする。		今まで習ったことを使って(小数)×(整数)の計算をしようとする。
	数学的考え方	0.1を単位としてみると、整数の乗法と同じように計算できると考えることができる。	筆算も0.1を単位とすると、整数のかけ算の筆算と同じように計算できると考えることができる。	0.1を単位として(小数)×(整数)は整数の乗法と同じように考えることができる。	
	表現・処理	小数を0.1がいくつ分と考えて計算することができる。	(小数)×(整数)の筆算の計算ができる。	(小数)×(整数)の計算、筆算ができる。	(小数)×(整数)の計算・筆算ができる。
	知識・理解	(小数)×(整数)の計算ができる。	(小数)×(整数)の筆算の仕方が分かる。	(小数)×(整数)の計算方法・筆算の仕方が分かる。	(小数)×(整数)の計算・筆算方法が分かる。
算数的活動	<p>探求的な活動</p> <p>図・数直線などを書いたりして(小数)×(整数)の計算の方法を考える。</p>	<p>発展的な活動</p> <p>(小数)×(整数)の計算の方法を使いながら筆算の仕方を考える。</p>	<p>応用的な活動</p> <p>(小数)×(整数・2位)の計算方法を既習事項の考えやすい方を選び考える。</p>		

		第5時(本時)	第6時	第7時	第8時																		
目標		1.2(小数)をより細かく分けて考えていくことで、整数の除法と同じ考え方で計算をすることができる気づくことができる	(小数)÷(整数)の筆算は0.1をもとにして考えると、整数のわり算の筆算と同じようにできることが分かる。	(小数)÷(整数)の計算でわり切れないときはあまりを出すことができる。	わり進んでいくとわり切れるわり算を、もとにする単位を1/10ずつ小さくして、筆算で計算できる。																		
学習展開		<p>問題提示</p> <p>1.2ℓのジュースを4人で4等分します。1人何ℓになるでしょう。</p> <p>・立式する $1.2 \div 4$</p> <p>1.2 ÷ 4 の計算のしかたを考えよう</p> <p>・数直線や図に書いたり、ℓをデシリットルにして考えたりする。</p> <p>・自分の意見と仲間の意見を比べながら、(小数)÷(整数)の計算は、割られる数をより細かい単位にすることに気づく。</p> <p>・まとめをする</p> <p>・練習問題</p>	<p>問題提示</p> <p>8.7mの針金を3人で等分します。1人分はなんmでしょう。</p> <p>・立式する $8.7 \div 3 = 2.9$</p> <p>2.9m</p> <p>8.7 ÷ 3 の筆算の仕方を考えよう</p> <p>・(整数)の除法をもとに考える。</p> <table style="border: 1px dashed black; margin: 0 auto;"> <tr> <td>2</td> <td>2.</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>3)8.7</td> <td>3)8.7</td> <td>3)8.7</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>27</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table> <p>・まとめをする</p> <p>・練習問題</p>	2	2.	2.9	3)8.7	3)8.7	3)8.7	6	6	6			27			27			0	<p>問題提示</p> <p>$8.2 \div 6$の計算をして商を1/10まで求めましょう また、余りもだしましょう</p> <p>(小数)÷(整数)がわり切れないときの余りを考えよう</p> <p>$8.2 \div 6 = 1.3...4$</p> <p>$8.2 \div 6 = 1.3...0.4$</p> <p>(小数)÷(整数)は0.1を単位としているので、余りも0.1を単位としている</p> <p>・計算の確かめをする。</p> <p>$1.3 \times 6 + 4 = 11.8$</p> <p>$1.3 \times 6 + 0.1 = 8.2$</p> <p>・まとめをする</p>	<p>問題提示</p> <p>3.8mのテープを4等分します。1つ分はなんmでしょう</p> <p>・立式する $3.8 \div 4 = 0.9...0.2$</p> <p>0.9mとあまり0.2m</p> <p>3.8mのテープを実際に4等分する(3.8が4等分できることの確認)</p> <p>3.8を4で割り切るにはどうしたらよいだらう</p> <p>0.2は0.01が20個だから $20 \div 4 = 5$</p> <p>0.01は5個だから $0.9 + 0.05 = 0.95$</p> <p>・まとめをする</p> <p>・練習問題</p>
2	2.	2.9																					
3)8.7	3)8.7	3)8.7																					
6	6	6																					
		27																					
		27																					
		0																					
評価	関心・意欲	(小数)÷(整数)の計算について、数直線や図を用いて、整数の計算に関連づけて考えようとする。	(小数)÷(整数)の筆算を前時の学習事項と関連づけて考えようとする。		1/10の位までではわり切れないというとき、どうにかしてわり切ることができないか考えようとする。																		
評価基準	数学的考え方	(小数)÷(整数)の計算は、割られる数の単位をより細かくして考えれば計算することができると思えることができる。	前時と同じように0.1を単位とすると、整数のわり算の筆算と同じようにできると考えることができる。	$8.2 \div 6$ を筆算で計算し、出てきた余り4というのは0.1が4つであると思えることができる。	0.01を単位としてわり算を進めると、0.1を単位にしていた時にわり切れなかった数がわり切れると思えることができる。																		
	表現・処理	(小数)÷(整数)の計算ができる	(小数)÷(整数)を筆算することができる。	余りが出る(小数)÷(整数)の筆算と検算をすることができる。	徐々にもとにする単位を1/10ずつ小さくして(小数)÷(整数)の筆算ができる。																		
	知識・理解		(小数)÷(整数)の筆算の仕方が分かる	余りが出る(小数)÷(整数)の筆算の仕方が分かる。	徐々にもとにする単位を1/10ずつ小さくする(小数)÷(整数)の筆算の仕方が分かる。																		
	算数的活動	探求的な活動 図・数直線などをかいたりして、(小数)÷(整数)の計算の方法を考える	発展的な活動 (小数)÷(整数)の計算方法を使いながら、筆算の仕方を考える。	発展的な活動 (小数)÷(整数)の計算の意味から、あまりも0.1を単位としているを考える	具体物を用いた活動 3.8mのテープを実際に4等分する事で、 $3.8 \div 4$ はわり切れるという見通しを持つ。																		

	第9時	第10時	第11時	第12時	
目標	わり切れないわり算の商を、四捨五入して概数で表すことができる。	何倍かを表すときに小数が用いられることを理解し、小数を用いて何倍かを表すことができる。	(小数)÷(整数)の計算の意味や計算方法の定着することができる。	(小数)×(整数)・(小数)÷(整数)の計算の意味や計算方法の定着することができる。	
学習展開	<p>問題提示</p> <p>4.5kgの米を23グループで等分します。1グループは約何kgでしょう。商を1/10まで求めましょう</p> <p>・立式する $40 \div 23$</p> <p>商を1/10まで求めよう</p> <p>商を1/10まで求めるということはどういうことなのか確認し、見通しを持つ。(1/100の位までもとめて四捨五入をする)</p> <p>・まとめ</p> <p>・練習問題</p>	<p>赤・緑・青・黄色のテープを実際に提示する。</p> <p>赤・緑・青のテープの長さは、それぞれ黄色のテープの何倍でしょう</p> <p>テープの長さ比べをしよう</p> <p>・整数倍を求めることを振り返りながら、小数倍の求め方を考える。</p> <p>・数直線やテープ図を用いて、小数倍の意味を正確にする。</p> <p>・まとめをする</p> <p>・練習問題</p>	<p>(小数)÷(整数)の計算をまとめよう</p> <p>練習問題</p> <p>・今までの(小数)÷(整数)の計算を振り返りながら、どのような考え方をしていたのか、計算方法をしていたのかを振り返りながら問題を解く</p>	<p>(小数)×(整数)・(小数)÷(整数)の計算をまとめよう</p> <p>練習問題</p> <p>・今までの(小数)×(整数)(小数)÷(整数)の計算を振り返りながら、どのような考え方をしていたのか、計算方法をしていたのかを振り返りながら問題を解く</p>	
評価基準	関心・意欲	必要とするくらいまででわり切れないときに、既習事項を用いて考えようとする。	小数倍を求めるとき、既習事項を積極的に用いようとする。	今まで習ったことを使って(小数)÷(整数)の計算をしようとする。	今まで習ったことを使って(小数)×(整数)・(小数)÷(整数)の計算をしようとする。
	数学的考え方		整数倍とともに、小数倍の意味をとらえる。		
表現	わり切れないわり算を、商を四捨五入する計算方法で処理できる。	除法を用いて小数倍を求めることができる。	(小数)÷(整数)の計算・筆算ができる。	(小数)×(整数)・(小数)÷(整数)の計算・筆算ができる。	
	知識・理解	わり進んでもわり切れないとき、商を四捨五入する処理の仕方があると理解できる。	何倍かを表すときに、小数を用いることがあることが分かる。	(小数)÷(整数)の計算・筆算方法が分かる。	(小数)×(整数)・(小数)÷(整数)の計算・筆算方法が分かる。
算数的活動	発展的な活動	具体物を用いた活動 長さの違うテープを実際に見ることで、課題追究の見通しを持つ			